

## 「三苦駅のEV」 「JR和白駅の改札口復活」

○三苦駅にエレベーターに整備され、一日に平均144人が利用されています。  
（昨年9月末現在）

○JR和白駅の西鉄側の改札口が、復活予定です。

・平成10年に閉鎖され、17年が経ちました。

・以前は乗り換えだけでも一日約200人の利用がありました。

（改札口の利用者は多数）



今林ひであき  
（自民党） 市政報告

### 【発行者】

福岡市東区  
塩浜一丁目16-25  
今林ひであき事務所  
TEL. 092-605-6515



○人にやさしい都市づくりを進める福岡市は、鉄道のバリアフリー化を、順次整備を進めていましたが、従前の方針では、一日の利用客が、五千人以下の駅では対象とならず、三苦駅は対象から外れていました。

○地元自治協の粘り強い要望活動により、三苦駅の三苦側・美和台側、両方に整備されました。

○地域の皆様方の声が、いかに大事で、行政や西鉄を動かす原動力になったことに對しまして、関係各位のご尽力に敬意を表します。

○一方、JR和白駅の西鉄側の改札口復活は、地元自治協の長年の要望に応えるもので、JRの階段利用を無くすバリアフリーでもあり、利用者の利便性の確保が最大限に図られる最善策だと思います。



## JR 和白駅の「桜樹」移植

○香椎方面の駅ホームと公園の間の「桜樹」は、共同改札復活に合わせて行う、バリアフリー化の一環で、移植されます。  
(現在工事中)

○桜樹は、地元郷友会(現在解散)の寄贈によるもので、全部で5本あり、3本は公園に、そして残りは、駅内に移植されます。

○郷友会とは、戦争遺族の会であり、地元の子孫の平和を願う活動でしたが高齢化等に伴い解散しました。

○その象徴である「桜樹」が当初は、伐採の危機にありましたが、地元の皆様の声により、移植されることになったことで、「桜樹」は喜んでいることと思います。

## 今後の課題は「高い運賃」 直通と運営の一本化

○余計な交通費がかかっています。

### 現状

・三苦和白から天神まで、西鉄貝塚線を利用の場合、貝塚駅での乗り換え  
そのため、西鉄・地下鉄で、両方に、  
初乗り運賃が余計にかかっています。

・三苦駅〜貝塚駅 230円

・貝塚駅〜天神 260円

・乗り継ぎ割△20円で **470円**

○地下鉄と西鉄貝塚線の直通運転が実現しても、運営会社が一本化されない限り、二重に初乗り乗り料金が発生

◎運営会社が統一された場合(推計)

・福岡市地下鉄が単独で運営した場合、

三苦駅〜天神

**330円**

・西鉄が単独で運営した場合

**340円**

2重の初乗り運賃の差

